



4 森探検

青森県立種差少年自然の家

○活動の概要○

自然の家周辺の雑木林などを散策しながら、そこに生息する野生動物の足跡やこん跡を探します。

1 ねらい

生態や様子を探ることで、生命や自然を愛護する豊かな心情を育みます。

2 場所・人数・期間・時間

- ① 場所・人数 種差少年自然の家周辺 40人程度（1グループ10人程度）
- ② 期間 12月～3月（降雪時が望ましい）
- ③ 時間 2～3時間

3 職員の支援について

活動前に職員が説明を行うことができます。依頼があれば、案内や解説などの活動支援に入ることができます。

4 準備物

区分	準備物	備考
団体	特になし	
個人	・野外活動に適した服装（防寒着、防寒具、長靴）	
自然の家	☆無線機（緊急連絡用として） ・双眼鏡 ・フィールドスコープ ・アニマルトラッキング資料	☆必ず持っていきます。 ・27台 ・10台

5 引率者の役割分担

係名	役割
代表責任者	・全体の掌握、指揮、連絡にあたる。 ・緊急時や戻るときに無線機を使って、自然の家まで連絡をする。
解説係	・グループと一緒に歩き、資料と照らし合わせ、簡単な解説をする。
救護係	・緊急時の救護にあたる。

6 活動の流れ

- ① 集合・活動説明（代表責任者）
- ② 班ごとに活動
- ③ 痕跡を探す
- ④ まとめ

7 その他

- ・ 解説係がグループ数分必要です。
- ・ 事前に自然の家で研修することをおすすめします。

《資料》

動物たちも人間と同じように、食べて、寝て、運動して、遊びます。
 その場所にいた動物が、
 「どこへ向かっているのかな？」
 「何を食べているのかな？」
 「どこで寝ているのかな？」
 「何という動物なのかな？」
 残された証拠を頼りに、推測してみよう。



まずは、足跡を見つけよう。

1 個ずつ交互になる。

2 個ずつ並んでいる。

Y 字のようになる。

どっちに進んでいるか、見きわめよう。

足跡をよく見てみよう。つめがあるほうが前ですよ。

つめが無ければ、指のほうが前ですよ。

ヒヅメは、細いほうが前ですよ。

手のひらです。

どこに隠れていたのか確かめよう。

動物も休むときには、すわるのさ。だから、**すわっていた部分の落ち葉がおされて土がむき出しになったり、雪がとけていたりします。**この部分の大きさを測るとその動物の大体の大きさが分かるよ。

足跡のそばに何か落ちていませんか。

フン (うんち)

尿 (おしっこ) の跡

においをかいでみよう。
何かが入っているかも

歩きながら何かしていませんか。

何かを食べていませんか

穴を掘っていませんか。

木の枝や幹にキズがつけられていませんか。